

後期高齢者医療制度への国・東京都の支援強化を求める意見書

上記の議案を提出する。

平成23年12月21日

提出者

24番 橋本 しげき

20番 山本 あつし

26番 本間 まさよ

武蔵野市議会議長 きくち 太郎 殿

後期高齢者医療制度への国・東京都の支援強化を求める意見書

東京都後期高齢者医療広域連合が検討している平成 24～25 年度の後期高齢者医療制度保険料のたたき台が明らかになりました。1 人当たり平均 1 万 4,265 円（約 17%）もの引き上げになり、現在行っている自治体からの一般財源を投入しない場合には 2 万 1,600 円（約 26%）の引き上げになるとしています。

この制度は、後期高齢者を家族から切り離し、後期高齢者の人口増と医療費増がそのまま保険料にはね返る仕組みになっているところに大きな問題点があります。

後期高齢者は、不況や年金の減少などで生活は深刻になっています。現行の保険料でも滞納者が多くなり、資格証発行までにはならなくても短期保険証発行者も増加しつつあります。

よって、本市議会は、政府及び東京都に対し、後期高齢者医療制度への支援強化を求めるものです。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出します。

平成 23 年 12 月 日

武蔵野市議会議長 きくち 太 郎

衆 議 院 議 長
参 議 院 議 長
内 閣 総 理 大 臣
厚 生 労 働 大 臣
東 京 都 知 事

あて